

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	稲沢市役所			代表者名	加藤錠司郎
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総合政策部デジタル推進課	連絡先電話番号	0587-32-1142
担当者役職	主査	担当者氏名	鈴木香里奈	連絡先E-mail	
住所	492-8269 愛知県稲沢市稲府町1番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	デジタルデバイド対策事業
概要	高齢者等デジタルデバイド対策の取り組みの一環として、市内高校生を講師役としたスマホ相談会の実施		
支援を求める分野	デジタルデバイド対策		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月23日	事前打合せ(実地)	10時00分	11時00分	
				活動時間（分）	60
2-2. 派遣場所	会場名	稲沢緑風館高等学校		最寄駅	名鉄 国府宮駅
	所在地	愛知県稲沢市平野町加世11番地		最寄駅からの交通手段	市コミュニティバス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	高校生と初めて開催するスマホ相談会について、現地で教頭先生に向けて相談会当日の流れや相談会実施に向けたボランティア部での活動について3者で共有することができました。
アドバイザーへの要望事項	引き続きよろしくお願いします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	7人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	4		その他(学生など)
				3

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	当市のデジタルデバイド対策は、市独自の補助金制度により地元企業がスマホ教室等を実施しているが、新たな担い手の育成が課題となっている。補助金ありきの事業から脱却を検討する必要があるため、地元の高校生を講師役とするスマホ相談会の実施を検討している。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	孫世代である高校生を講師役としたスマホ相談会は、相談しやすい環境を提供し、高齢者層にスマホを身近に感じてもらう有効な手段となり得ます。スマホ相談会を通じて、高齢者の方々がスマホの利便性を実感し、市からの情報発信をスマホで受け取れるようになることで、情報格差の是正に繋がります。さらに、オンライン手続きへの抵抗感を減らし、デジタルデバイドの解消にも貢献することが期待するもの。

アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	次回以降の支援について全体の流れを共有し、3者で意見交換を行うことができました。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	市・高校・大学の3者間でスマホ相談会の趣旨・目的について共有することができました。また、2回目の支援で高校生が相談役となれるよう大学生が相談役となりデモが進めるよう役割分担等、理解していただくことができました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 特になし
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	相談会のタイトルや図書館で周知する際のポスター、チラシの案については大学生が素案を作成し、2回目の支援で高校生の意見を反映させて決定していきます。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は事前打合せのためアンケートはありません。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する スマホ相談会の開催に向け、適宜情報共有を行う。
4－4. 事業の最終的な目指す姿	孫世代である高校生を講師役としたスマホ相談会は、相談しやすい環境を提供し、高齢者層にスマホを身近に感じてもらう有効な手段となり得ます。スマホ相談会を通じて、高齢者の方々がスマホの利便性を実感し、市からの情報発信をスマホで受け取れるようになることで、情報格差の是正に繋がります。さらに、オンライン手続きへの抵抗感を減らし、デジタルデバイドの解消にも貢献することが期待するもの。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

